

## 桜満開のなか箬蔵寺春の大祭



4月12日、池田町州津の箬蔵寺で春の大祭が行われました。境内の桜は満開を迎えており、護摩殿前を出発した約20人の僧侶は、花びらが舞う中、ほら貝などの音色に合わせて、声明（しょうみょう）を唱えながら、約1時間かけ本殿に向けて厳かに練り歩きました。

その後本殿では読経が行われ、多くの参拝客が無病息災や家内安全などを祈願しました。最後に、日用品などが当たる福もち投げも行われ、大変賑わいました。

## 高原に春を運ぶ野焼き



4月14日、恒例の野焼きが標高1043メートルの塩塚高原で行われました。天候の不順で1週間延期された今年の野焼きは、山頂で着火式が行われた後、午後6時に火が入れられました。

今年は風が少なく、炎の帯はいつもよりゆっくりと広がり、地元のほたる会といちょう会のメンバーや市職員らが約3時間かけて、約20ヘクタールを焼きつくしました。バチバチと音を立てるオレンジの炎は、迫力満点で、たくさんのカメラマンがシャッターを盛んに切っていました。

## 春の味覚に舌鼓



4月15日、第15回キリサコ山菜まつりが山城町の大川持農林業体験施設周辺で行われ、市内外から約200人の家族連れが訪れました。

この催しは大川持農林業体験施設管理組合が毎年開催しており、今年も組合員が周辺の山々から集めてきたワラビ、イタドリなど春の山菜を使った手作り料理が振る舞われました。参加者は山菜の天ぷらなどで旬の味を満喫しました。

ここでは、最近では見かけなくなった山菜もあり、自然の大切さを知る良い機会にもなりました。

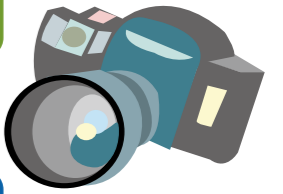
## 祖谷の景観を満喫



4月22日、「癒しの健康ウオーク」（大歩危・祖谷いってみる会主催）があり、親子連れなど約250人が自然の中でさわやかな汗を流しました。

コースは、池田町大利の公園を出発し、西祖谷山村の祖谷ふれあい公園までの約18キロ。参加者は鮮やかな新緑の木々や祖谷川の景色を楽しみながら、コース沿いに捨てられた空き缶やペットボトルなどのごみを拾い集めて歩きました。ゴール後は大歩危祖谷温泉郷の温泉に入り、ウォーキングの疲れを癒やしました。

# まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、  
どんなことでもいいので耳より  
な情報をお知らせください。

三好市役所 総務課広報係  
☎ 0883-72-7600

## 女性消防団発足

4月3日、三好市三野町消防団女性分団の発足式が三野公民館で行われました。

三好市長から「鍛錬を積んでいただき、女性ならではの活躍で地域防災力の向上に努めてほしい」と激励の言葉がおくられ、三野町消防団長から団員ひとりひとりに辞令が交付されました。

三好市消防団は、57分団1350人と県内最大の規模で、地域住民の安心・安全のために1年間をとおして活動しています。女性分団員は、市内の会社や病院などに職業を持ちながら、常備消防とともに複雑多様化する災害の対応にあたります。



▲女性の活躍する場が増えています

## 安全で安心なまちづくりキャンペーン

4月11日、池田高校ハンドボール部が主体となって、三好警察署員、三好市役所職員らが、JR阿波池田駅前「安全・安心なまちづくりの日」推進のキャンペーン活動を行いました。キャンペーンではJR利用者や通行人に対し、各種犯罪の防止や少年非行防止のチラシや条例のリーフレット等を配布しました。この運動で市民の防犯意識の高揚につながったことだと思います。

このキャンペーンは今年1月の「徳島県安全で安心なまちづくり条例」施行を受け、徳島県では毎月11日を「安全・安心なまちづくりの日」とし、その第1回記念行事として行われたものです。



▲安全で安心なまちづくりをめざしましょう